

第5 4回えいが部「ミザリー」(1990年)

大衆向けロマンス小説「ミザリー・シリーズ」の作者である流行作家のポール・シェルダンは、「ミザリー・シリーズ」最終作に続く新作を書き上げた後、自動車事故で重傷を負ってしまう。そんな彼を助けたのは、ポールのナンバーワンのファンと称する中年女性アニー・ウィルクスだった。看病と日ごとポールを帰さず、拘束・監禁するアニーは、次第にその狂気の片鱗を覗かせ始める。そんな時、ポールが書き上げたばかりの「ミザリー・シリーズ」最新作の原稿を見たアニーは、結末が納得できないという理由で原稿を燃やす事を強要。新作を灰にされたポールは彼女の狂気に気づき脱出を試みる。

監督：ロブ・ライナー

- ・スタンド・バイ・ミー Stand by Me (1986)
- ・プリンセス・ブライド・ストーリー The Princess Bride (1987)
- ・恋人たちの予感 When Harry Met Sally... (1989)
- ・ア・フュー・グッドメン A Few Good Men (1992)
- ・ストーリー・オブ・ラブ The story of us(1999)
- ・最高の人生の見つけ方 The Bucket List (2007)
- ・LBJ ケネディの意志を継いだ男 LBJ (2016)
- ・記者たち 衝撃と畏怖の真実 Shock and Awe (2017)

原作：スティーヴン・キング

- ・キャリー Carrie (1976年)
- ・シャイニング The Shining (1980年)
- ・クリープショー Creepshow (1982年)
- ・クジョー Cujo (1983年)
- ・デッドゾーン The Dead Zone (1983年)
- ・クリスティーン Christine (1983年)
- ・炎の少女チャーリー Firestarter (1984年)
- ・スタンド・バイ・ミー Stand by Me (1986年)
- ・バトルランナー The Running Man (1987年)
- ・ペット・セメタリー Pet Sematary (1989年)
- ・IT It (1990年)
- ・ショーシャンクの空に The Shawshank Redemption (1994年)
- ・グリーンマイル The Green Mile (1999年)
- ・ミスト The Mist (2007年)
- ・ドクター・スリープ Doctor Sleep (2019年)

出演 ポール・シェルダン (ジェームズ・カーン)

- ・1972 ゴッドファーザー The Godfather サンティノ (ソニー)・コルレオーネ
- ・1974 ゴッドファーザー PART II The Godfather Part II ソニー・コルレオーネ
- ・1976 メル・ブルックスのサイレント・ムービー Silent Movie 本人
- ・1977 遠すぎた橋 A Bridge Too Far エディ・ドーハン軍曹
続・男と女 Un autre homme, une autre chance デヴィッド・ウィリアムス
- ・1981 愛と哀しみのボレロ Les Uns et les Autres ジャック・グレン
- ・1987 友よ、風に抱かれて Gardens of Stone クレル・ハザード
- ・1988 エイリアン・ネイション Alien Nation マシュー・スカイズ
- ・1990 ディック・トレイシー Dick Tracy スパルドーニ
- ・2014 ロバート・アルトマン/ハリウッドに最も嫌われ、そして愛された男
Altman 本人 ドキュメンタリー映画
- ・2017 アンダーカバー・じーさん Undercover Grandpa おじいちゃん

アニー・ウィルクス (キャシー・ベイツ)

- ・1983 セカンド・チャンス Two of a Kind
- ・1986 モーニングアフター The Morning After マテオ通りの女
- ・1990 ディック・トレイシー Dick Tracy グリーン夫人
- ・1991 ウディ・アレンの影と霧 Shadows and Fog 娼婦
フライド・グリーン・トマト Fried Green Tomatoes エヴリン
迷子の大人たち Used People ビビ
- ・1997 タイタニック Titanic モリー・ブラウン
- ・2019 ザ・テキサス・レンジャーズ The Highwaymen ミリアム・ファーガソン
Netflix オリジナル映画

キャシー・ベイツは、本作で第63回アカデミー賞主演女優賞を受賞。

映画『フライド・グリーン・トマト』で、ベイツ演じる主人公が「ホラー映画の怪物にならずにすんだ」と語るシーンがある。また、ハンマーで家の壁を破壊するなど、本作品のオマージュと思われるシーンがある。

監督のコメンタリーによると、主人公を寝たきりにさせる演技が難しく、有名な作家役として著名な俳優を起用しようとしたが、決まるまでに相当な人数に出演を断られたという。